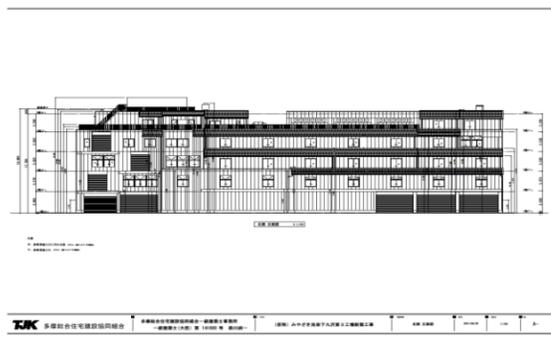


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)みやぎ洗濯下九沢第3工場新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県相模原市緑区下九沢字下ノ原169番21.22	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,300時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年8月25日
敷地面積	2,165㎡	作成者	多摩総合住宅建設協同組合一級建築士事務所
建築面積	1,167㎡	確認日	2021年8月25日
延床面積	4,144㎡	確認者	多摩総合住宅建設協同組合一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 JR南橋本駅から徒歩20分の準工業地域に、周囲のまちなみに調和を図りつつ事務所・工場の複合用途の建物を計画した。上溝バイパスやJR相模線の路線から良く見える場所に位置しており、周辺には住宅が多い地域である。		その他 特になし
Q1 室内環境 遮音性能T-2の開閉部を使用して騒音の侵入を防いでいる。F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用して、室内の空気環境に配慮している。事務所には窓を多く設置して自然光を利用している。	Q2 サービス性能 主要内装仕上材は耐用年数の長い部材を選択、また空調・給排水配管は更新必要間隔の長い管材を選択しており、建物の長寿化を図っている。壁長さ比率=0.15により、空間の形状・自由さが大きい。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明により、設備システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加えて省水型機器(擬音装置)を採用しており、水資源の保護を図っている。躯体と仕上げ材は容易に分別可能(躯体+軽鉄+仕上材)であり、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。	LR3 敷地外環境 駐輪場・駐車場を設置し、出入口付近は交差点を避けており周辺道路の渋滞緩和対策をしている。屋外照明器具や屋内照明の漏れ光、広告物照明における対策は十分に取られており、光害を抑制している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される